

2019年7月19日

報道関係各位

株式会社OKB総研

新入社員のキャッシュレス決済利用調査

OKBグループのシンクタンク(株)OKB総研(岐阜県大垣市郭町2-25 社長 五藤義徳)は、標題の調査結果を取りまとめましたのでご案内します。

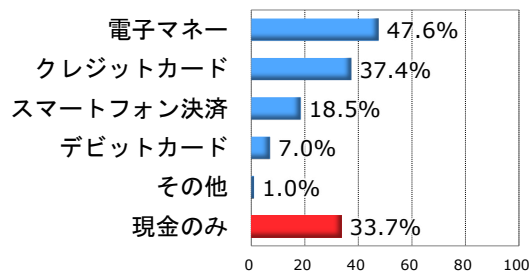
当社では、OKB大垣共立銀行主催の新入社員研修会の受講者を対象に、「新入社員の意識調査」を実施しています。今年度は、定例の質問に加えて、キャッシュレス決済の利用状況について調査しました。なお、7月発行の当社機関誌「レポートvol.174」に掲載中の調査結果を添付致しますので詳細はこちらをご参照ください。

〈調査結果のポイント〉

- ① 新社員のおよそ3分の2が、普段の買い物・飲食でキャッシュレス決済を利用
- ② 「積極的に利用」約1割、「現金と使い分け」4割弱、「最低限」は半数超
- ③ 利用場所は、「コンビニ」が56.5%、「公共交通機関」が43.1%
- ④ 利用にあたって、「ポイント・還元率」重視。利用店舗の多さやお店での利用しやすさも重要

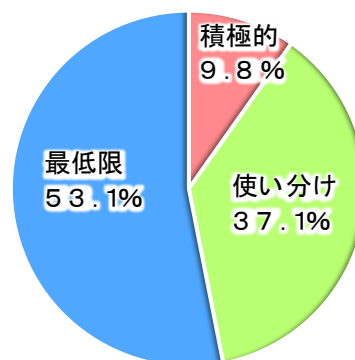
新入社員1,057人に聞きました

普段の買い物・飲食での支払い方法



※電子マネー…端末電子マネー(カード型)
※スマートフォン決済…おサイフケータイ、QRコード・バーコード決済などスマートフォンによる決済

キャッシュレス決済の利用方針



キャッシュレス決済の利用場所

コンビニ	56.5%
公共交通機関	43.1%
スーパー・ショッピングモール	33.7%
自動販売機	25.5%
百貨店・デパート	22.1%
飲食店	22.1%
ガソリンスタンド	18.0%
ドラッグストア	15.0%
その他	9.2%

キャッシュレス利用で重視したいこと

ポイントがよく貯まる、還元率が高い	57.5%
利用可能な場所が多い	49.8%
お店で利用しやすい	49.1%
セキュリティの高さ	29.2%
割引やクーポン配布等の特典がある	27.4%
登録・初期設定の簡単さ	14.7%
その他	2.5%

資料配布場所：大垣市政経済記者クラブ、名古屋金融記者クラブ

【本件に関するお問い合わせ先：(株)OKB総研 調査部 中澤 大輔 Tel.0584-74-2631】

新入社員アンケート調査概要

調査対象	岐阜県・愛知県・三重県・滋賀県所在の企業 255 社の新入社員
調査期間	2019 年 3 月 13 日～4 月 5 日
調査方法	ＯＫＢ大垣共立銀行主催の新入社員研修会受講者(1,070 人)に無記名方式で実施
有効回答者数	1,057 人(有効回答率 98.8%)
回答者属性	下表の通り

		全体	男性	女性
有効回答者数		1,057名	558名	499名
平均年齢		21.1歳	21.3歳	20.9歳
最終学歴	高校卒業	35.5%	31.2%	40.3%
	専門学校卒業	10.8%	11.4%	10.2%
	短期大学卒業	4.8%	1.6%	8.4%
	4年制大学卒業	45.0%	50.7%	38.7%
	その他	3.8%	5.1%	2.4%
居住地	岐阜県	45.7%	45.0%	46.5%
	愛知県	42.3%	41.9%	42.9%
	三重県	2.2%	2.7%	1.6%
	滋賀県	0.9%	0.9%	0.8%
	その他	8.9%	9.5%	8.1%
業種	建設業	7.6%	9.9%	5.1%
	製造業	44.5%	48.4%	40.1%
	卸売業、小売業	11.8%	10.6%	13.1%
	医療・福祉	9.2%	6.2%	12.5%
	サービス業	13.1%	10.6%	16.0%
	その他	13.9%	14.4%	13.3%

(注) 端数を四捨五入しているため、合計は100%にならない場合がある(以下同じ)。

以上